

# 経営比較分析表（令和5年度決算）

長野県 南箕輪村

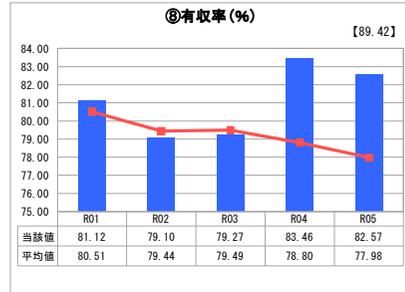
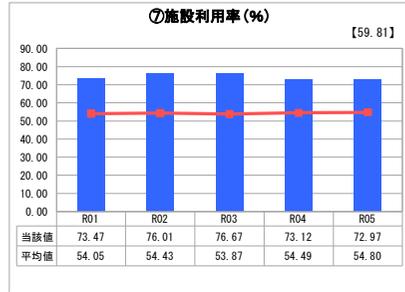
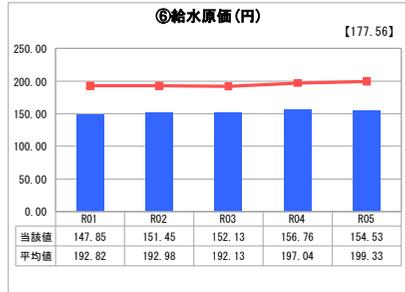
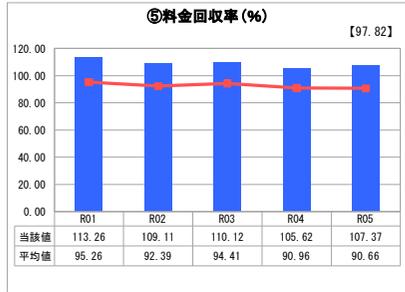
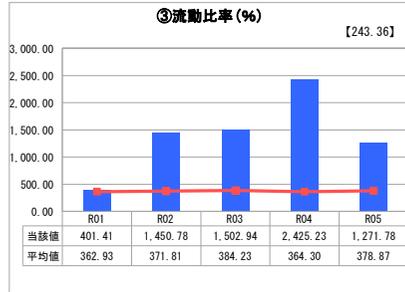
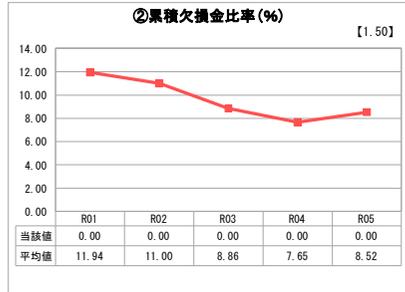
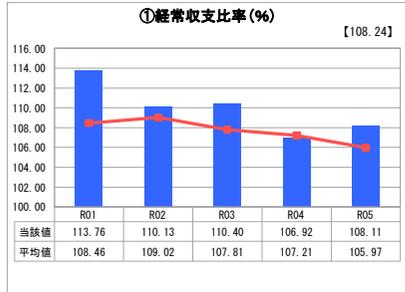
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A7	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	90.20	89.37	3,184	

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
16,109	40.99	393.00
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
14,336	20.25	707.95

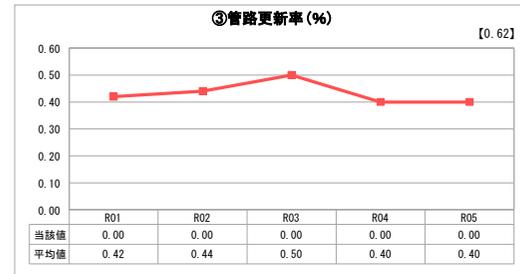
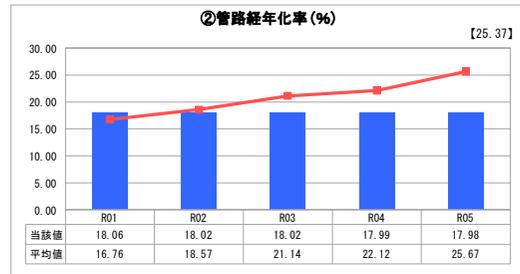
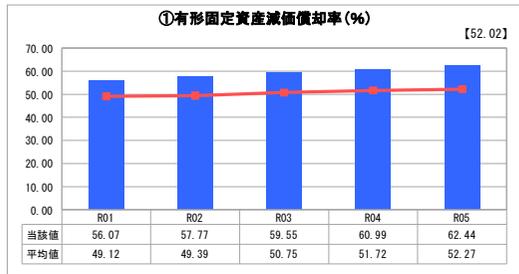
**グラフ凡例**

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 【】 令和5年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

当村では経常収支比率が100%以上になっていることから、昨年度同様に黒字経営を維持しています。企業債残高対給水収益比率は類似団体平均値より低い数値になっており、将来にわたる公債費負担も低くなっています。また、施設利用率が平均値より高く、給水原価が平均値より低く、料金回収率が平均値より高いことから、既存の施設を有効に活用して安価な給水原価を生み出し、給水収益でその費用を賄い、健全な事業経営となっています。有収率は昨年度より若干下がりましたが、類似団体平均値より高い数値となりました。引き続き漏水の恐れのある老朽化した管路の更新等、有収率向上に努めてまいります。

### 2. 老朽化の状況について

法定耐用年数を迎える固定資産が多くなっていることを示す有形固定資産減価償却率が平均値よりも高い数値になっています。また、法定耐用年数を経過した管路を示す管路経年劣化率は昨年度と同様に平均値より低い数値になっていますが、法定耐用年数を経過する管路の増加が見込まれることから、収支や経営状況を踏まえ、重要施設に接続する幹幹管路の更新を中心に計画的かつ効率的に老朽管の更新を行ってまいります。

### 全体総括

当村では人口増に伴い給水収益も増加傾向にあり、給水収益により給水費用を賄っていますが、将来訪れる人口減少時代に備え、今後も健全経営に引き続き努めてまいります。また、法定耐用年数を経過する配水管の更新については、有形固定資産減価償却率が高く経常収支比率が良好であることから、結果的に必要な更新事業を先送りしてきたと推察されます。令和3年度に改訂した水道ビジョンの更新計画や今後の経常収支予測、資産状況の見通しを踏まえ令和11年度までの上下水道耐震化計画を策定しました。計画に基づき老朽化した配水管等の更新を進め、引き続き水道事業の健全化を図ってまいります。